

Be the Greatest

能都中学校

1年1組学級通信 No. 36

令和4年10月17日(月)

文責：久田 倫子

作文「体育祭を振り返って」

今年は私にとって初めての体育祭が行われました。応援リーダーになって、9月5日に応援リーダーだけの練習がありました。先輩方がたくさんいて、最初は怖かったけど、みんな優しい人ばかりで、安心しました。次に全体練習になって、先輩たちを中心にダンスからみんなで覚えることができました。外の練習でも、何回も間違えながら、みんなで応援を中心に覚えていきました。そして本番リハーサルのときに、競技練習を全くやっていたから、すごく怖かったけど、順調に進んで良かったです。そして、応援合戦も大きな声で応援できたし、みんな団結していたので、いいと思いました。負けたけど、すごく楽しい体育祭になってよかったです。(M)

私は体育祭を通して、先輩や鶴川の生徒の絆が深まったと思います。リレーのときのバトン渡しや、1年生の青団のみんなでやった、台風の日や大縄跳び、応援合戦などたくさんの人と交流し、たくさん思い出を作ることができました。私は、台風の目の練習なしでぶっつけ本番でとても緊張していたけど、チームのみんなが「がんばれ」「できるよ」と声掛けしてくれたので、とてもうれしかったです。大縄跳びも、練習のときから息が合わなくて、何も跳べなかったり、すぐ引っかかりしていたけど、本番のとき、ミスをしなくても続けようとしていたので、目標の「勝つ」ということもできたし、新記録を出すこともできました。リレーは選抜ということもあり、とても緊張しました。練習の時、バトン渡しがうまくいかず、バトンを落としてしまうこともあったけど、本番はしっかりバトンを渡せました。来年は、3年生のことを手伝ってあげられるように、一致団結して、頑張っていきたいと思います。(A)

中学生になって初めての体育祭でした。する前は、わけがわからず、怖かったです。でも、今思うと、すごく楽しかったことを覚えています。心に残っているのは応援です。特に外での練習は、友達との距離が遠くなり、なかなか声が出ませんでした。そのときに、3年生や応援リーダーの友達が一生懸命声を出していることに気が付き、みんなのために、チームのために頑張ろうと意識が変わりました。そして、本番では過去の練習よりも大きな声を出すことができました。向かいで赤団のみんなが手拍子をしてくれたり、応援してくれたりしたこともすごく印象に残っています。その他にも、自分の競技、自分の係などの様々なことがありましたが、私は応援練習が特に、自分や仲間、そして相手の赤団で高め合うことができた演目だと思います。これから、能都中祭があります。合唱などのみんなと力を合わせることは、日々高め合いながら協力して頑張っていきたいです。(M)

自分が体育祭で一番楽しかったことは、小綱奪いです。理由は、友達と協力できたからです。他にも、大縄ではみんなで協力して跳べたのでよかったです。私は練習に参加できなかったのですが、本番で始めて跳びました。よく引っかかりましたが、楽しく跳べたので良かったです。応援では、大きい声でできました。最初の練習では、声が小さかったし、ダンスは全然できなかったけど、先生や友達に教えてもらって、できるようになりました。私は体育祭であきらめないことを学びました。次の体育祭では、最初からできないなどのネガティブな発言はしないで、全力で体育祭をしたいと思います。他の行事でも、あきらめない気持ちをもって、どんなことでも全力でいきたいと思います。このことは、大人になっても忘れずに、頑張っていきたいと思います。(Y)